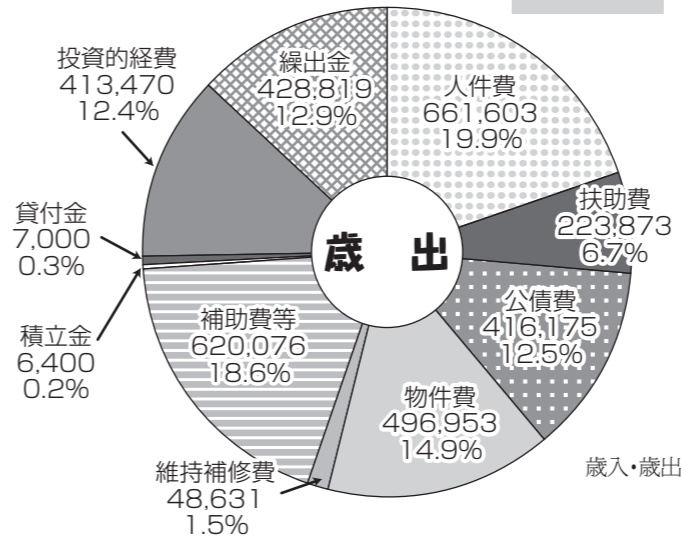
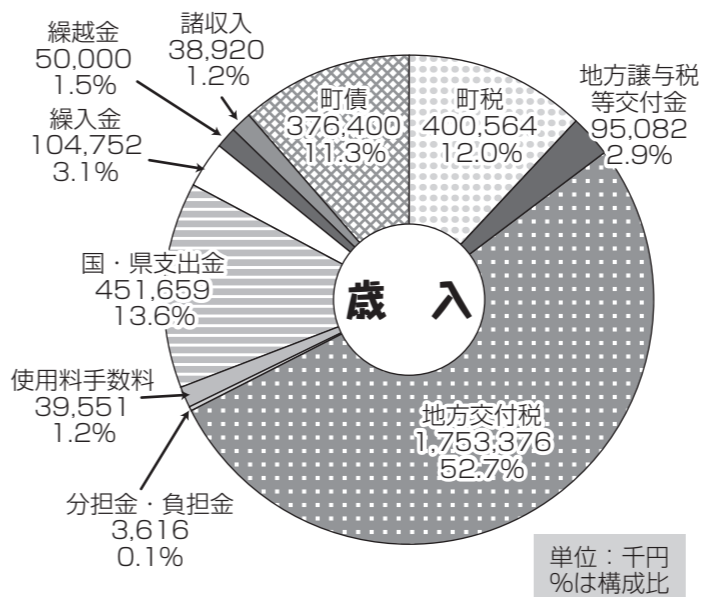


# 笑顔あふれる町へ 平成23年度予算決定!

**一般会計は  
総額33億2,800万円**

「元気あふれる町へ着実に」  
「ついに前進」

平成23年度の町の予算が、町議会3月定例会で議決されました。  
「希望の光・わが金山へ笑顔あふれる町」の実現のため、町民のみなさんからのニーズを出来る限り反映いたしました。  
23年度も、着実な行財政運営により、福祉の向上や夢が持てる取り組み、そして町民が自信と誇りを持ち、住み続けられる町づくりを行ってまいります。  
特別会計は老人保健事業特別会計の廃止により、6会計7事業、予算総額は15億293万円となりました。



歳入・歳出とも予備費などの少額のもの金額等を記載しておりません。

**4本柱の政策拡充と  
雇用対策・地域経済の活性化を**

一般会計予算は、「人材育成、健康づくり、産業振興、定住交流」を4本柱とし、可能な限り独自の支援を展開しながら、引き続き確実な実施を目指します。現在のニーズを捉え、雇用対策や地域経済活性化策などを中心に予算の編成を行いました。

また予算総額が増加した要因は、金山、有屋小学校の耐震補強等工事や子ども手当の増額支給が主な要因となっています。



**歳入**

町税は、昨今の経済事情による個人町民税所得割の減額や、たばこ税の減額から、全体で4・5%の減少と見込んでいます。

地方譲与税は、国の試算において自動車重量譲与税が減少すると推測されていることから、当町においても前年度より下回るものと見込んでおります。

**「これからの見通し」  
金山のニーズに合った運営を**

昨年「地方公共団体の健全化に関する法律」が20年度決算から適用され、健全化指標である「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」について公表が義務付けられました。金山町では昨年の9月議会で、いずれの比率も早期健全化基準内であり、年々町債の残高も減少していくことを報告しています。

予算全体のうち、毎年度変わらず要する経費が全体の何割かを示す経常収支比率は今後も90%以下で年々減少していく見込みです(経常収支比率が低ければ、町が自由に使えるお金の割合が高いということ)。

将来負担比率も町債残高の減少や職員数の減少により低くなっていきます。

また、町債の残高は一般会計の場合、23年度末では34億4千万円程度となります。残高のうち約4割は交付税として交付されますが、引続き適正な管理を行うことで残高自体も緩やかな減少



**歳出**

人件費は、議員年金共済負担金が一時的に増えますが、全会計における職員人件費は、15年度以降毎年減少していきます。

扶助費は、子ども手当の支給額が増えることにより、12・6%の伸びとなりました。

公債費は前年度より約2千860万円減少しています。

投資的経費のうち町の単独分は、国の経済対策により22年度へ前倒ししたものもありますが、木質燃料ボイラー導入の実施設計や金山小の屋根や外壁の改修を予定しています。また補助事業分は、有屋小、金山小学校耐震補強工事や道路改良、流雪溝整備などを盛り込みました。

特別会計への繰出金は国民健康保険事業勘定と介護保険で会計内の基金も財源として活用することから、一般会計から両会計への繰出金は大きく減額となっています。



町内でのたどひとつの入院施設を存続させるため、「町立診療所」のご利用をお願い申し上げます。

歳入の半分以上を占める地方交付税は、国の総額では増額とされていますが、計算の基礎となる人口数値が22年度の国勢調査に置き換えられ減少することもあり、前年比2・1%増と見込んでいます。

国庫支出金は、金山小、有屋小の耐震補強工事に係り、7千6百万円増額となったことや、子ども手当の増額や道路整備などにより39・9%の大幅な伸びとなっています。

繰入金については、財政運営基金から5千万円のほか、小学校等の施設整備のために資産活性化基金から約4千万、またふるさと寄附金を使った事業の財源とする予定です。

諸収入は前年の宝くじ協会からの助成金約3千4百万円(福祉バス等の整備)が皆減となり大幅な減少となりました。

町債は、地方交付税と一体として算定される臨時財政対策債が算定方法の変更により大きく減少しましたが、小学校の耐震等改修工事や道路改良などに係る起債発行が増えたため、総額は増加しました。

4本柱と雇用、地域経済活性化策を強化するため、町独自の支援を可能な限り広げました。また乳幼児から中学生までの医療費を無料、認定こども園の給食費を無料とします。さらにノーベル賞受賞者を招いての講演会の開催など、夢を持って長く住み続けられる町づくりを展開します。

## 23年度の主な事業



### 子育て支援

- ・第1子から出産祝金を贈呈
- ・妊婦健診助成（14回分）
- ・第1子から入学祝金を贈呈（**拡充**）
- ・第3子以降の保育料助成（**拡充**）  
（規定改正により対象者を拡大）
- ・乳幼児～中学生の医療費助成（**拡充**）  
（小学生の通院と中学生の入院、通院も無料へ）
- ・不妊治療助成
- ・すくすくプレイランドの開催



### 雇用・商工

- ・プレミアム商品券への補助（**拡充**）
- ・商工会金山支部への運営補助
- ・街の駅及び土産販売所の検討（**新規**）
- ・緊急雇用
- ・新規開発事業補助金
- ・常用労働者新規雇用奨励金  
（平成25年3月末まで交付条件を一部緩和）
- ・新規学卒者採用促進奨励金（**新規**）
- ・工場誘致奨励金



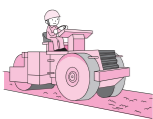
### 教育文化

- ・きらり金山地域活性化拠点づくり（**新規**）  
（ふるさと壁画制作、お宝マップ作成等）
- ・小学校英語学習指導補助員の設置（**新規**）
- ・認定こども園運営支援（**新規**）  
（給食の完全無料化、施設整備補助を含む）
- ・放課後子ども教室・放課後児童クラブの開催
- ・特別教育支援員・学校カウンセラーの設置（**拡充**）



### 環境対策

- ・スポーツ強化支援
- ・金山小、有屋小耐震補強工事（**新規**）
- ・リサイクル推進運動（集団資源回収奨励金）
- ・コンポスター導入助成
- ・公害防止と不法投棄の適正処理
- ・木質バイオマスボイラー導入の実施設計（**新規**）



### まちづくり

- ・町道改修と橋梁補修による安全確保（**拡充**）
- ・合併処理浄化槽設置補助
- ・町道除雪事業
- ・地区公民館整備
- ・地区交付金等交付事業
- ・心の絆づくり事業（おたがいさま運動）
- ・介護奨励金支給事業（**拡充**）

★(新規)、(拡充)と記載があるものは、22年度当初予算と比べて新規・拡充の事業です。



### 人材育成

- ・家庭教育推進事業
- ・金山清い心の町創造事業  
（「仮称」かねやま未来会議事業への補助）
- ・ノーベル賞受賞者招へい・講演会の開催（**新規**）



### 健康づくり

- ・「金山人」育成事業  
（金山高校学習振興事業費補助等）
- ・8020めざし隊（**拡充**）  
（歯科衛生士による歯周疾患予防、健診時フッ素無料塗布回数増）
- ・個別受診のフッ素塗布無料券の交付（**新規**）
- ・健康倶楽部、お茶のみクラブ活動（地区啓発）
- ・高齢者インフルエンザ予防接種補助  
（65歳以上対象）
- ・高齢者肺炎球菌ワクチン接種補助（**拡充**）  
（対象年齢を70歳以上から65歳以上へ）
- ・新型インフルエンザワクチン接種助成  
（1歳～中3、生活保護者等対象）
- ・子宮頸がんワクチン（中学生対象）、Hibワクチン（2ヶ月～5歳未満）、小児肺炎球菌ワクチン接種助成（2ヶ月～5歳未満）（**新規**）
- ・町立診療所ドック検診助成  
（40～60歳男性対象）



### 産業振興

- ・伝統野菜特産化推進（商標権登録）（**拡充**）
- ・ほ場整備、農業用施設整備補助
- ・地産地消推進（青空市、伝統家庭料理展示会、ふるさとクーポン等）
- ・園芸農業育成支援
- ・林道改修
- ・美しい森林づくり（間伐事業）
- ・ナラ枯れ防除対策（**拡充**）
- ・金山杉サミット開催



### 定住交流

- ・金山暮らし体験事業（**拡充**）
- ・転入者の新改築のための借入金の  
利子分を補助（50万円まで）（**拡充**）
- ・金山まつり、観光協会への補助（**拡充**）
- ・金山町住宅総合支援（**新規**）  
（金山杉活用住宅奨励補助等）
- ・街並み景観づくり100年運動
- ・景観づくり海外研修事業（**新規**）
- ・グリーンバレー神室等のPR（**拡充**）

## 金山ふるさと寄附充当事業 ～温かなご支援を形に～

平成22年も金山出身の方をはじめ、たくさんの町外の方から温かなご支援をいただきました。昨年中の受領額合計は589万3千円（317件）21年度の約2倍）でした。寄附者のご希望に合わせて次のおり、23年度事業へ活

が続きと推測しております。  
23年度決算における実質公債費比率は15.8%と試算され、減少します。今後も適正な町債発行を行ってまいります。  
このように財政健全化に向けて見通しを立てておりますが、国の動向が不安定な面もあり、引き続き注視する必要があります。なぜなら、地方交付税への依存度が高い金山町の財政は、国や県からの交付税や補助的な収入に大きく左右されるためです。  
常に最新の情報を得ながら計画を見直し堅実な運営を行ってまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 特別会計総額は 15億293万円 老人保健会計を 廃止、一般会計

特別会計（6会計と水道事業の収益的収支分）全体では1千617万円の減少となりました。

- ・「人材育成事業」  
かねやま清い心の町創造事業（28万2千円）
- ・「健康づくり」  
健康づくり推進事業（74万7千円）
- ・「産業振興」  
商店活性化対策事業（90万3千円）
- ・「定住交流」  
交流PR推進事業（31万9千円）
- ・景観づくり海外研修（53万7千円）
- ・「教育文化」  
金山育英会運営費補助事業（150万円）
- ・「その他」  
育児支援事業（160万5千円）

国保事業勘定は、主に最上広域連合に対する財政支援負担金が増え、前年比2.2%の増となりました。  
国保直診勘定（診療所分）は、前述の繰入金の内容にもあるとおり、起債の償還分が完了したことから、1千141万円の減となりました。  
介護保険事業は、居宅介護サービ等の医療給付費が伸びたことによる増、後期高齢者医療は相談室整備で増となりましたが、県広域連合への負担金が減額となり、ほぼ前年並みの予算となりました。  
農業集落排水事業は、公共移設工事により微増、下水道事業は起債償還金の減などにより、約1千6百万円の減、水道事業は配水管の移設工事などにより増額となっています。  
なお、老人保健特別会計は、制度が後期高齢者医療制度に移行したことから、平成20年3月診療までの遡及分のみでしたが、これがほぼ終了したと思われることや、予算規模が小さいことから、22年度で特別会計を廃止することとなりました。

## 平成23年度 会計別予算総括表

| 会計名          | 本年度予算額    | 前年度予算額    | 比較増減    |        |
|--------------|-----------|-----------|---------|--------|
|              |           |           | 予算額     | 増減率(%) |
| 一般会計         | 3,328,000 | 3,132,000 | 196,000 | 6.3    |
| 特別会計         | (61,128)  | (55,649)  | (5,479) | (9.8)  |
| 国民健康保険特別会計   | 1,502,930 | 1,519,100 | △16,170 | △1.1   |
| 老人保健特別会計     | 66,960    | 65,510    | 1,450   | 2.2    |
| 後期高齢者医療特別会計  | 406,630   | 418,040   | △11,410 | △2.7   |
| 介護保険特別会計     | 0         | 1,930     | 皆減      | 皆減     |
| 農業集落排水事業特別会計 | 61,760    | 61,830    | △70     | △0.1   |
| 公共下水道事業特別会計  | 605,800   | 595,680   | 10,120  | 1.7    |
| 水道事業会計       | 54,110    | 53,320    | 790     | 1.5    |
| 合 計          | 121,120   | 137,160   | △16,040 | △11.7  |
| (資本的支出)      | (61,128)  | (55,649)  | (5,479) | (9.8)  |
| (収益的支出)      | 186,550   | 185,630   | 920     | 0.5    |
| (資本的支出)      | (61,128)  | (55,649)  | (5,479) | (9.8)  |
| 資本的支出以外      | 4,830,930 | 4,651,100 | 179,830 | 3.9    |

・水道事業会計の（ ）内は資本的支出